

2026年3月期 第2四半期 決算説明会



**SERENDIP
HOLDINGS**

セレンディップ・ホールディングス株式会社

証券コード 7318

2025年11月18日



Index

1. 決算概要
2. トピックス
3. Q&A
4. Appendix

【2026年3月期 第2四半期】 連結業績サマリ

- 昨年12月にM&Aしたエクセル・グループの業績を期首から取り込み、すべての項目で過去最高を更新
- 当期純利益は、サーテックカリヤのM&Aに伴う負ののれん発生益2,846百万円を特別利益として計上し、前年同期比17.2倍

売上高 過去最高 19,290百万円 前年同期比 +96.9pt 前年同期 9,795百万円	営業利益 過去最高 699百万円 前年同期比 +139.8pt 前年同期 291百万円	経常利益 過去最高 585百万円 前年同期比 +47.3pt 前年同期 397百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益 過去最高 3,064百万円 前年同期比 +1622.0pt 前年同期 177百万円	調整後EBITDA※ 過去最高 1,500百万円 前年同期比 +65.2pt 前年同期 908百万円	M&A実行件数 1件 前年同期 1件

※調整後EBITDA:営業利益+のれん償却費+減価償却費+一過性の新規M&A関連費用

非連続成長(サーテックカリヤ)及びM&A関連費用等を除いたオーガニックベース

- 一過性のM&A関連費用を除くオーガニックベースで、営業利益は前年同期比+205.4%と大幅に増加

単位(百万円)	2Q累計					
	オーガニックベース (M&A関連費用除く)			会計実績 (M&A関連費用含む)		
	2025/3期	2026/3期	前年同期比	2025/3期	2026/3期	前年同期比
売上高	9,796	19,291	+96.9%	9,796	19,291	+96.9%
調整後EBITDA	932	1,763	+89.2%	909	1,501	+65.2%
営業利益	315	962	+205.4%	292	700	+139.8%
経常利益	421	967	+129.6%	398	586	+47.3%
当期純利益(参考)	194	508	+161.6%	178	3,065	+1622.0%

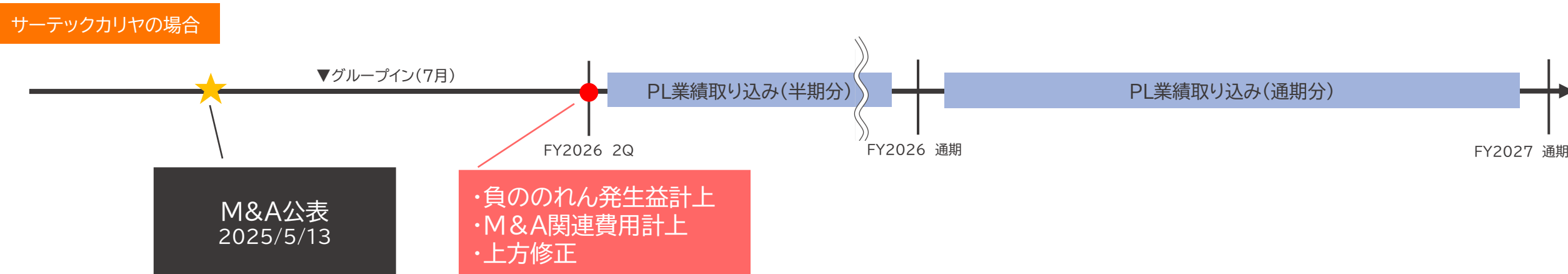
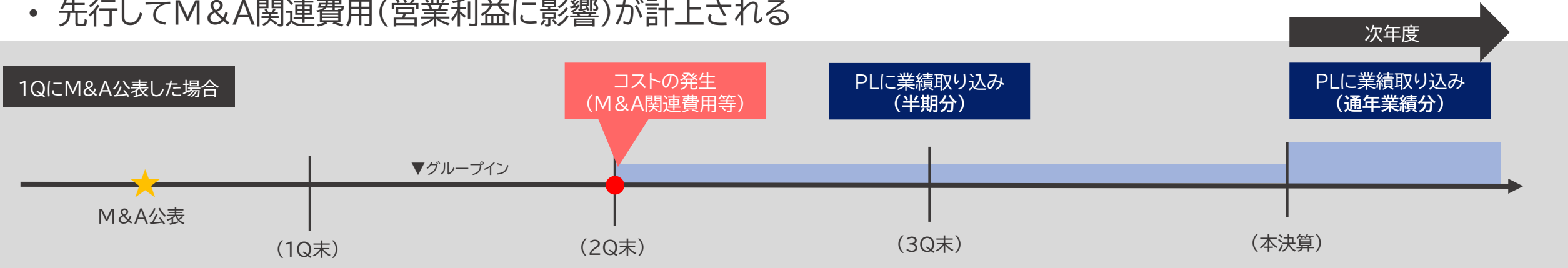
※百万円未満を四捨五入しております。
※「オーガニックベース(M&A関連費用除く)」の当期純利益は、一過性の費用を法定実行税率で割り戻して算出しているため(参考)とさせていただきます。

オーガニックベースと会計実績の差異内訳(▲:減額要因、+:増額要因)

- 販管費(M&A仲介およびデューデリジェンス費用):▲262百万円
- 営業外支払手数料(ファイナンス手数料等):▲118百万円
- 負ののれん発生益: +2,846百万円

M&Aの遅効性

- 業績が反映されるのはM&A公表直後ではなく、3ヶ月～半年
- 先行してM&A関連費用(営業利益に影響)が計上される

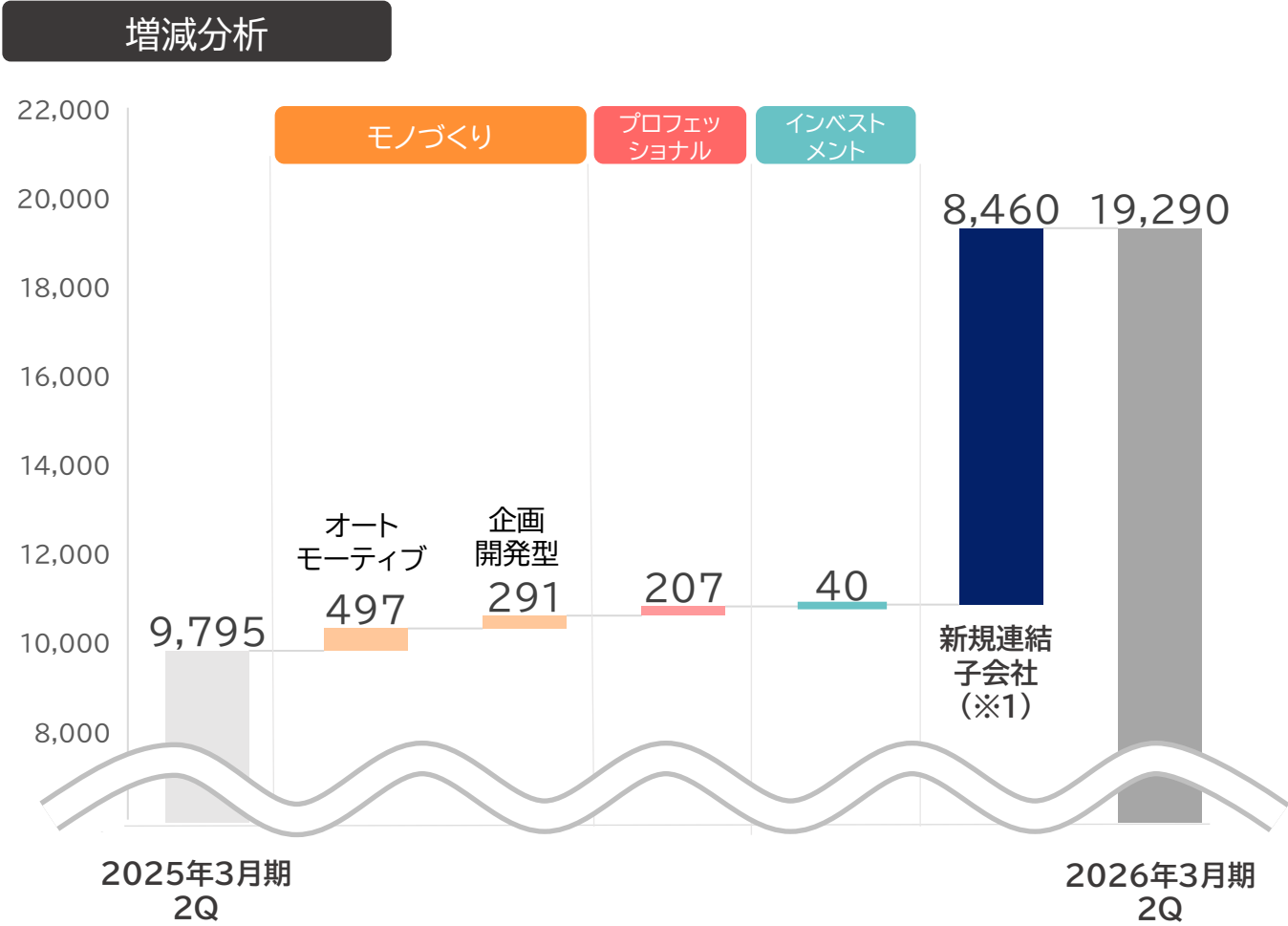


セグメント売上高の状況および連結売上高増減分析

- ・ エクセル・グループをはじめとする新規M&Aにより連結売上高は非連続的成長を達成
- ・ 既存のグループ各社は、全体として前年同期を上回る水準を確保

(単位:百万円)	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	前年同期比
モノづくり事業	9,088	18,276	+101.1%
オートモーティブサプライヤー	7,407	16,525	+123.1%
ユニクレア(佐藤工業×イワキ)	2,492	5,590	+124.3%
三井屋工業	4,915	5,259	+7.0%
エクセル・グループ	－	5,731	－
企画開発型モノづくり	1,683	1,782	+5.9%
天竜精機	428	446	+4.2%
アパックス	987	1,058	+7.2%
レディーバード	268	207	-22.8%
トライシス	－	71	－
プロフェッショナル・ソリューション事業	906	1,277	+40.9%
セレンディップ・ホールディングス	536	817	+52.4%
セレンディップ・テクノロジーズ	440	460	+4.5%
セレンディップ・ロボクロス	11	92	+736.4%
インベストメント事業	94	114	+20.8%
セレンディップ・フィナンシャルサービス	94	114	+20.8%

※個別業績については内部売上高又は振替高を含んでいるため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。
※ユニクレアの2025年3月期2Qの数値にイワキは含まれておりません。

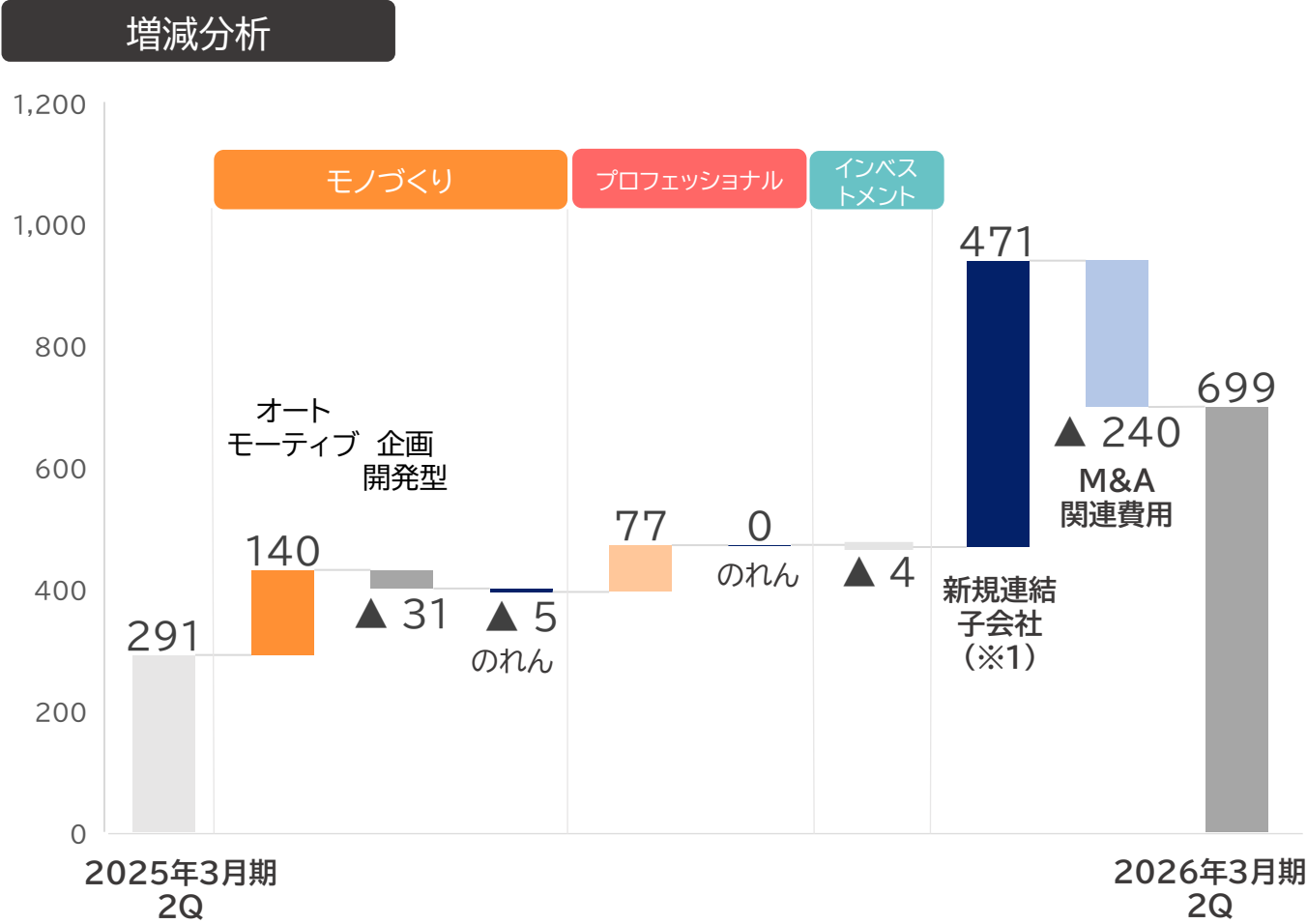


※1 新規連結子会社は、ロボクロス・イワキ・トライシス・エクセル・グループを指します。

セグメント利益の状況および連結営業利益増減分析

- ・ エクセルの新規業績取込み、三井屋工業・ユニクレアも堅調でオートモーティブサプライヤー事業が大幅に増益
- ・ 当社コンサル事業がDX増収に伴い増益

(単位:百万円)	2025年3月 2Q	2026年3月期 2Q	前年同期比
モノづくり事業	320	631	+97.2%
オートモーティブサプライヤー	244	621	+154.5%
ユニクレア(佐藤工業×イワヰ)	-5	67	-
三井屋工業	249	297	+19.3%
エクセル・グループ	-	506	-
企画開発型モノづくり	116	32	-72.4%
天竜精機	-99	-103	-
アパックス	155	125	-19.4%
レディーバード	60	-5	-
トライシス	-	15	-
プロフェッショナル・ソリューション事業	-39	60	-
セレンディップ・ホールディングス	-23	66	-
セレンディップ・テクノロジーズ	21	8	-61.9%
セレンディップ・ロボクロス	-3	-14	-
インベストメント事業	11	7	-38.6%
セレンディップ・フィナンシャルサービス	11	7	-38.6%



※個別業績については内部売上高又は振替高を含んでいるため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。
※ユニクレアの2025年3月期2Qの数値にイワヰは含まれておりません。
※サーテックカリヤのM&A費用はオートモーティブサプライヤーに含めております。

※1 新規連結子会社は、ロボクロス・イワヰ・トライシス・エクセル・グループを指します。

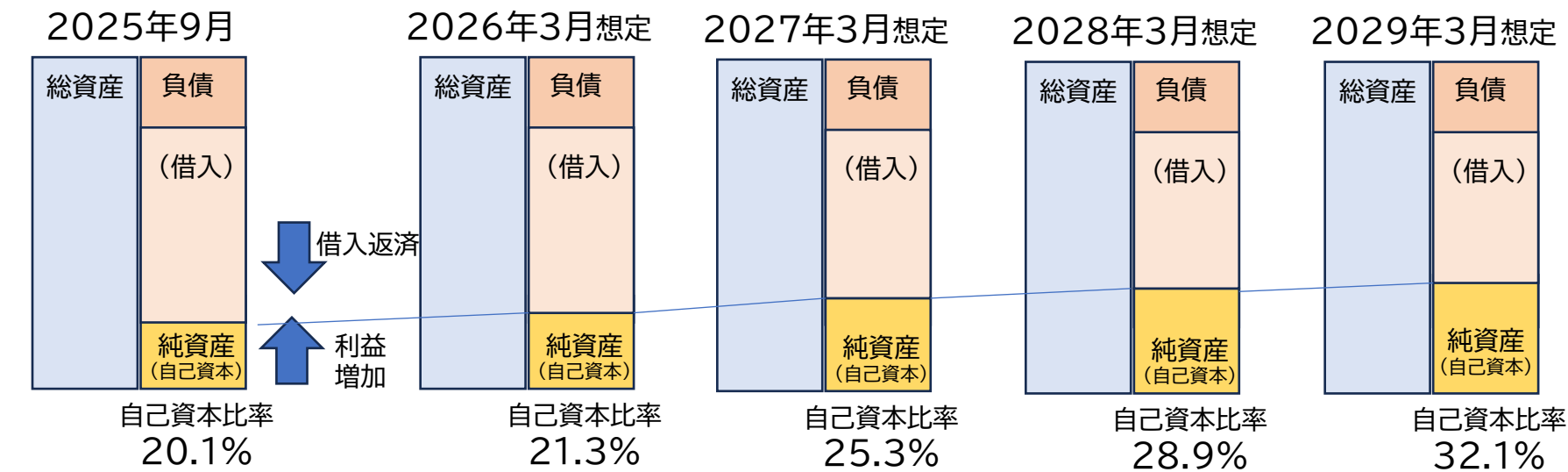
連結貸借対照表サマリ

- ・ サーテックカリヤのB/Sを2Qで取り込み、資産・負債とも大幅に増加
- ・ 「負ののれん」発生により、自己資本比率は20.1%と20%台を維持

(単位:百万円)	2025年3月期末	2026年3月期2Q	増減額
総資産	32,241	55,051	+22,809
流動資産	16,193	27,065	+10,871
固定資産	16,047	27,985	+11,937
負債	24,109	40,819	+16,709
流動負債	13,099	23,153	+10,053
固定負債	11,010	17,666	+6,656
純資産	8,132	14,231	+6,099
自己資本比率	24.8%	20.1%	-4.7pt

自己資本比率の見通し

- M&Aで一時的に自己資本比率が低下するも、安定した利益及び借入返済により増加する
- 当社の投資方針は、**キャッシュカウ(安定分野)の投資比率が高く**、一定の蓋然性はあるものと思料



※「借入返済」は、既存借入の返済・設備投資計画に沿った借入の実行を加味しております。
※「利益増加」は、新規M&Aを加味せず、既存グループ会社が稼ぐ利益を保守的に横引きし、税率を35%、一部被支配株主分を考慮して算出しております。

【参考:M&Aによる非連続成長を事業とする企業の自己資本比率】

A社	B社	C社	D社
19.0%	23.1%	30.2%	31.0%

A・B・C・D社は、GENDA、ヨシムラフードHD、技術承継機構、コロワイドのいずれか

エクイティファイナンスの優先順位

- 複数のM&Aファイナンススキームの組み合わせにより、**自己資金の流出を最小化**
- 株価の希薄化を抑えるため、エクイティファイナンスの実施を劣後

投資資源の調達方針

有利子負債＋自己株式活用

- 銀行借入・メザニン・自己株式活用を組み合わせ、M&A投資の必要資金に対応する柔軟な資金戦略



CMS(キャッシュ・マネジメント・システム)

- グループ内現預金を効率活用し**投資資金余力を創出**



エクイティ

- 株価水準や市場動向、財務状況を踏まえ、投資によるEPS向上を前提に、資本調達も含めた最適な選択肢を検討



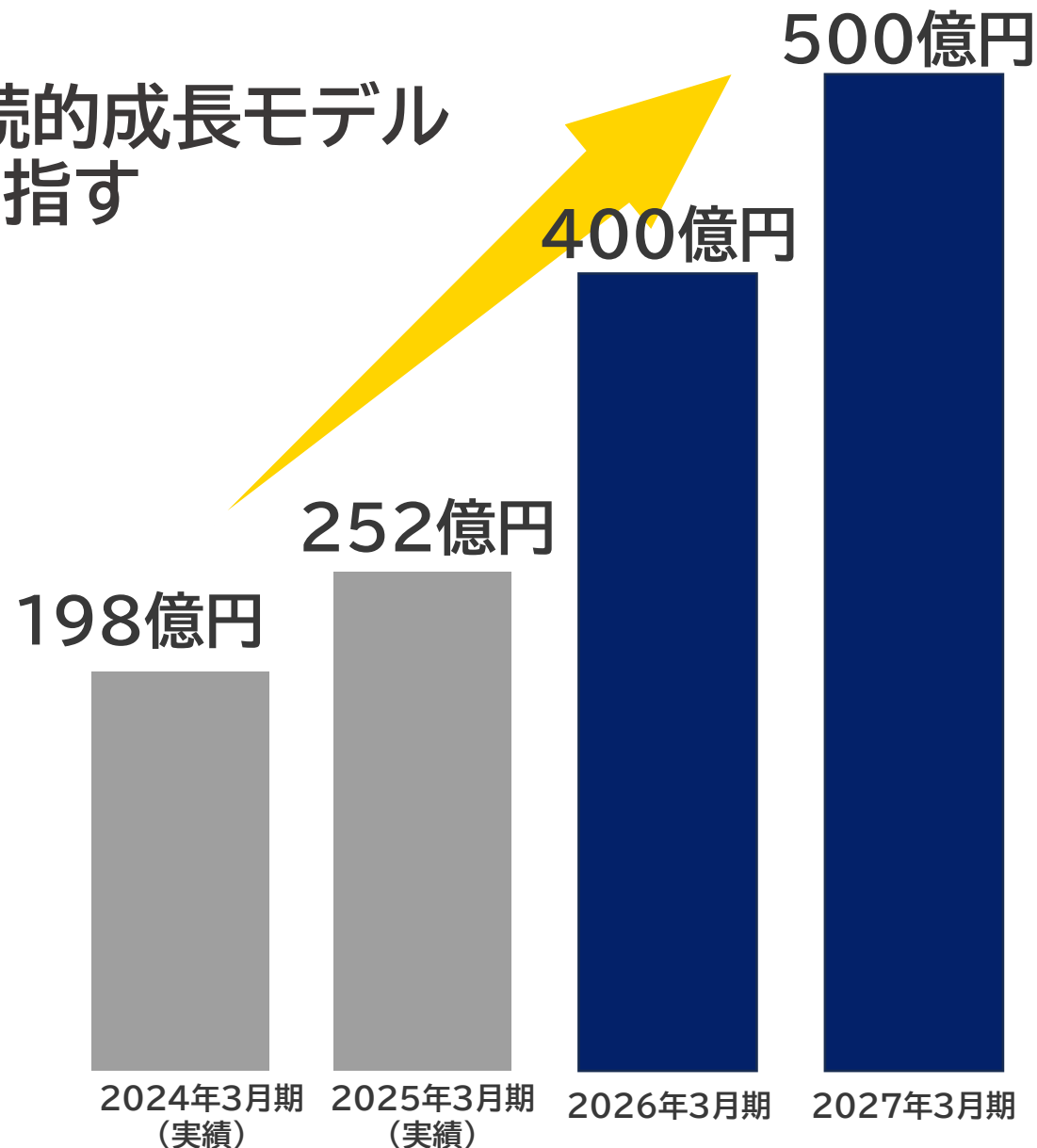
Index

1. 決算概要
2. トピックス
3. Q&A
4. Appendix

当社が日本の中堅・中小製造業の持続的成長モデル となるべく連結売上高500億円を目指す

セレンディップ5つの成長戦略

1. 非連続的な成長を実現する
事業承継M&A
2. 成長する世界市場に挑戦する
海外進出
3. 新しい価値創造に挑戦する
高付加価値領域、脱炭素・EV化
4. 製造現場の生産性を劇的に向上する
フューチャーファクトリー
5. 中小・中堅企業が規模の経済を獲得する
ホールディングスの企画機能強化



業績予測の修正(連結)

- 売上高は、3Qから取り込むサーテックカリヤの業績を上乗せし、対期首予測25%の**2ケタ上方修正**
- 営業利益・経常利益は、2Qに一過性の新規M&A関連費用を計上するも、3Qから取り込むサーテックカリヤの業績が補い、ともに**2ケタ上方修正**
- 当期純利益は、サーテックカリヤのM&Aにより「負ののれん発生益」**2,846百万円**が発生(特別利益)し、対期首予測3.7倍を予測

(単位:百万円)	FY2026 期初予測 (5/12公表)	FY2026 今回予測 (修正後)	増減 (増減率)	参考 オーガニックベース (サーテック・M&A関連費 用除く)の予測値
売上高	40,000	50,000	+10,000 (25.0%)	40,000
営業利益	1,800	2,250	+450 (25.0%)	1,950
経常利益	1,850	2,180	+330 (17.8%)	2,000
親会社株主に帰属する当 期純利益	1,100	3,900	+2,800 (254.5%)	—
1株当たり当期純利益 (単位:円 銭)	243.56	853.38	—	—

セレンディップ・チャレンジ500達成に向けて大きく前進

- 売上高は、中期経営計画を前倒して達成見込み
- 営業利益はQ2に一過性の新規M&A(サーテックカリヤ)関連費用を計上するも、当初計画を大幅に上回る見込み

非連続成長」を実現した当期のM&A実績

(単位:億円)

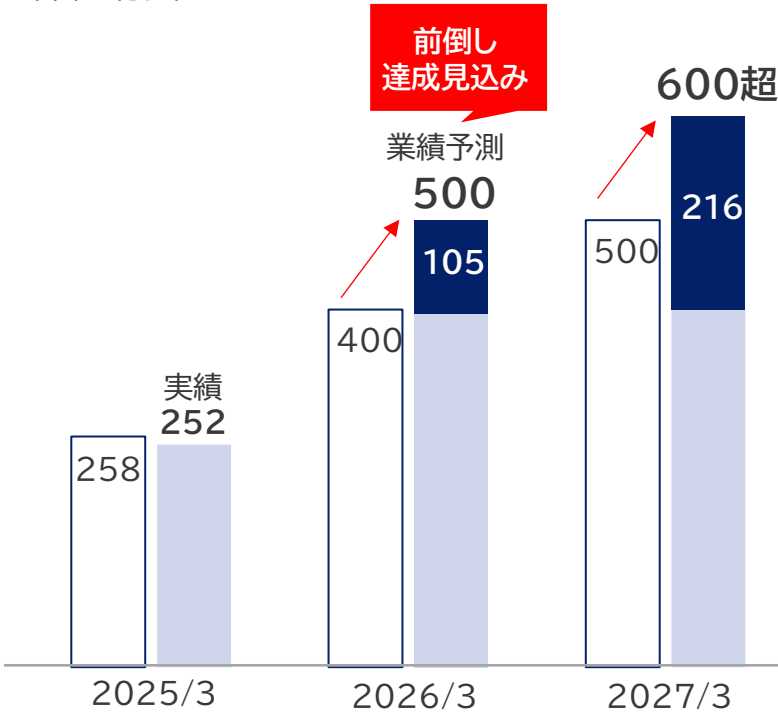
サーテックカリヤ	
実施時期	2025年7月
連結売上高	216
連結営業利益	11

※上記の数値はM&A実施前



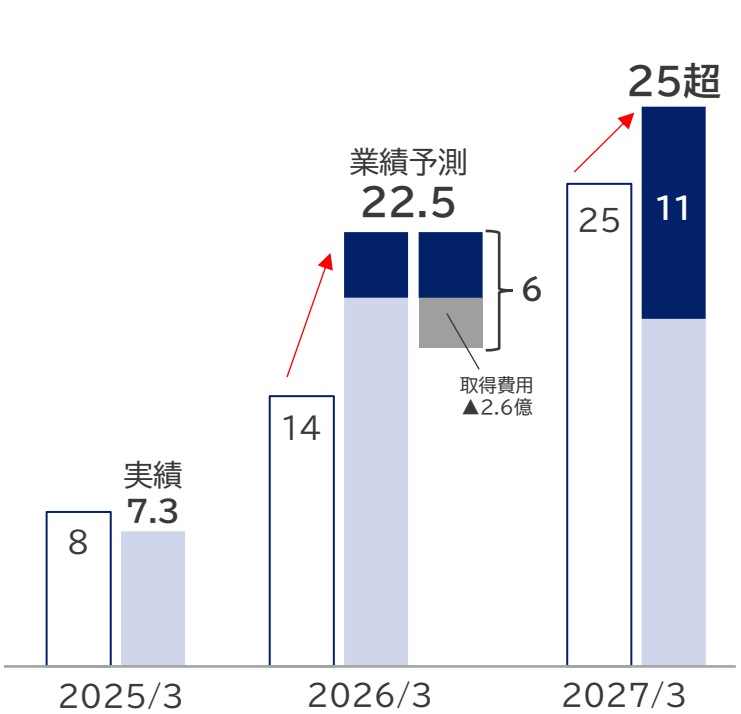
連結売上高

(単位:億円)



連結営業利益

(単位:億円)



□中計数字(2024/6発表) ■オーガニック成長 ■非連続成長(サーテックカリヤ)

株価の推移 | さらなる企業価値向上へ

- サーテックカリヤM&A公表以降、株価は上昇基調を示し、出来高も安定して推移
- 時価総額230億円は通過地点、さらなる企業価値向上へ



株式分割 | 株価上昇を踏まえた株式分割の実施

- 当社株価が堅調に推移している背景を踏まえ、より投資しやすい環境へ
- 株式の流動性を高めることで、投資家層のさらなる拡大を図る

分割比率

1 対 4

基準日 : 2025年11月30日※¹

効力発生日 : 2025年12月1日

株式分割前
(~2025年11月30日)

約50万円
4,975円×100株※²



株式分割後
(2025年12月1日~)

約12万円
1,244円×100株

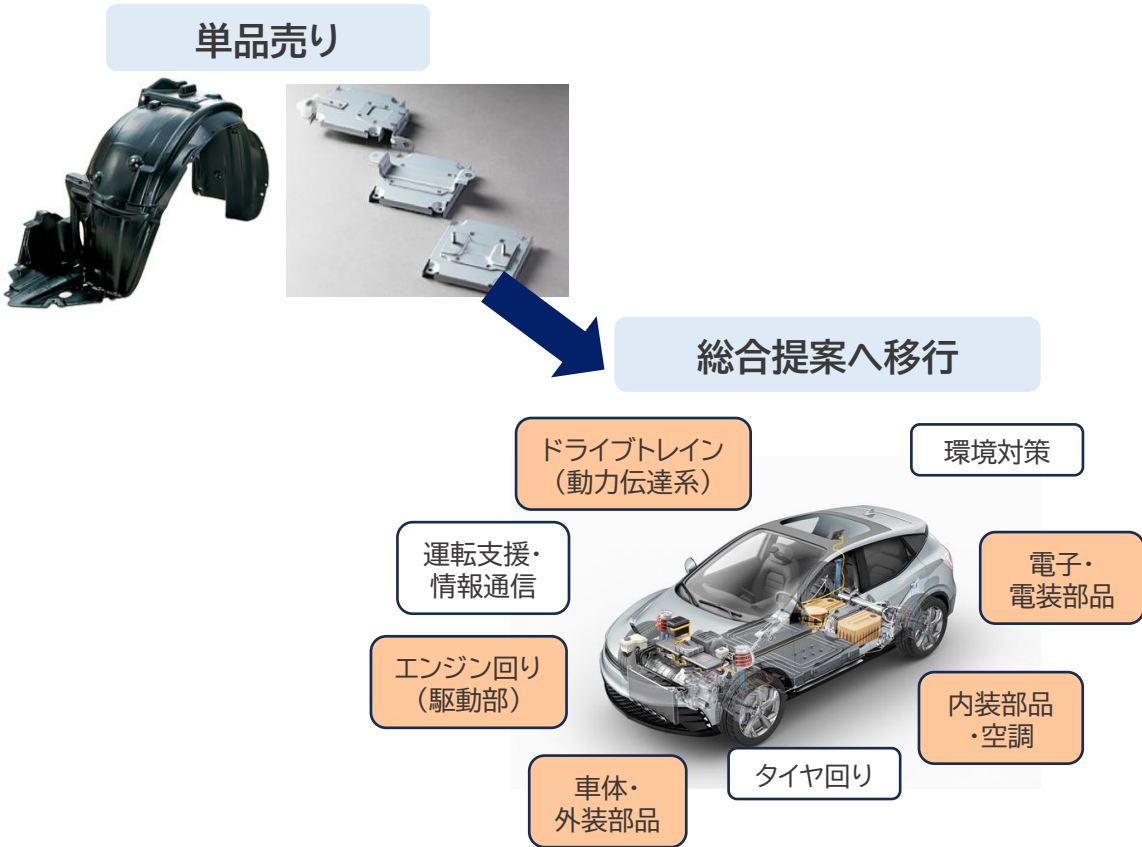
※¹基準日である2025年11月30日(日曜日)は休日扱いとなるため、実質的には2025年11月28日(金曜日)となります。

※²投資単位は、2025年11月17日終値である1株4,975円を基準として100株で換算

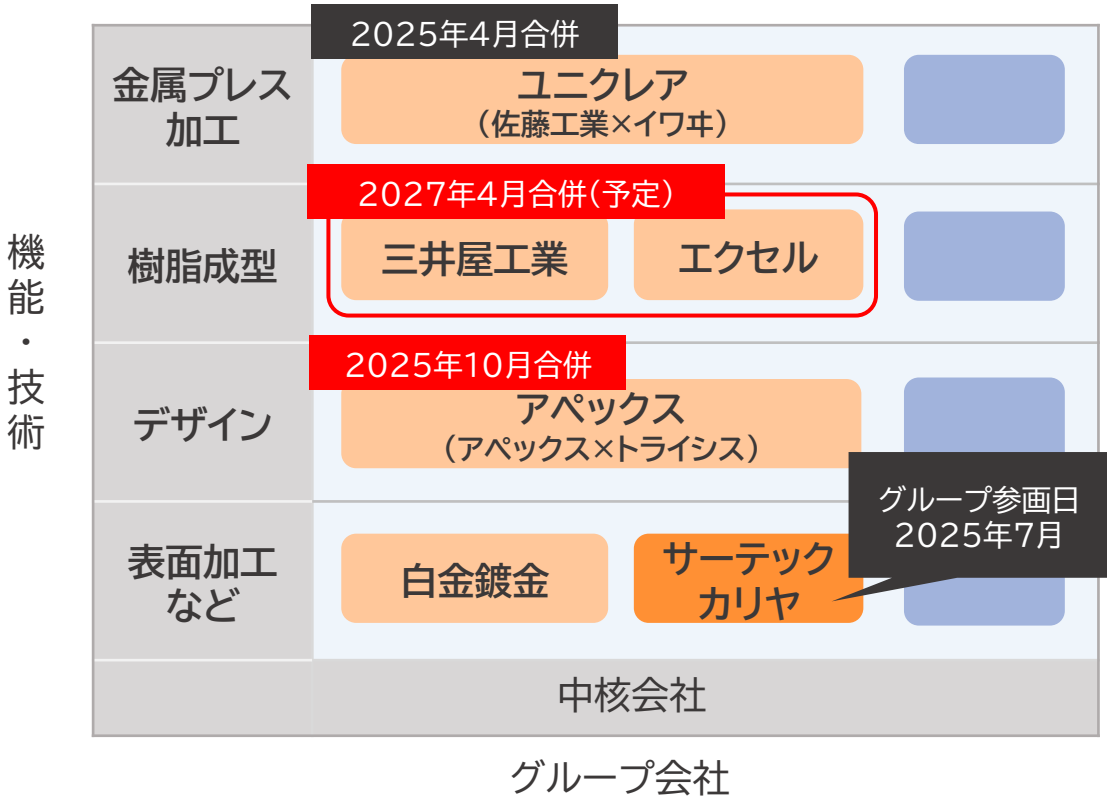
ロールアップ型M&Aの加速

- ロールアップ型のM&Aで、当社グループは単品売りから機能・技術を軸に総合提案できる体制に進化

“めっき・表面処理”の総合メーカー
が加わり、提案領域をさらに拡充

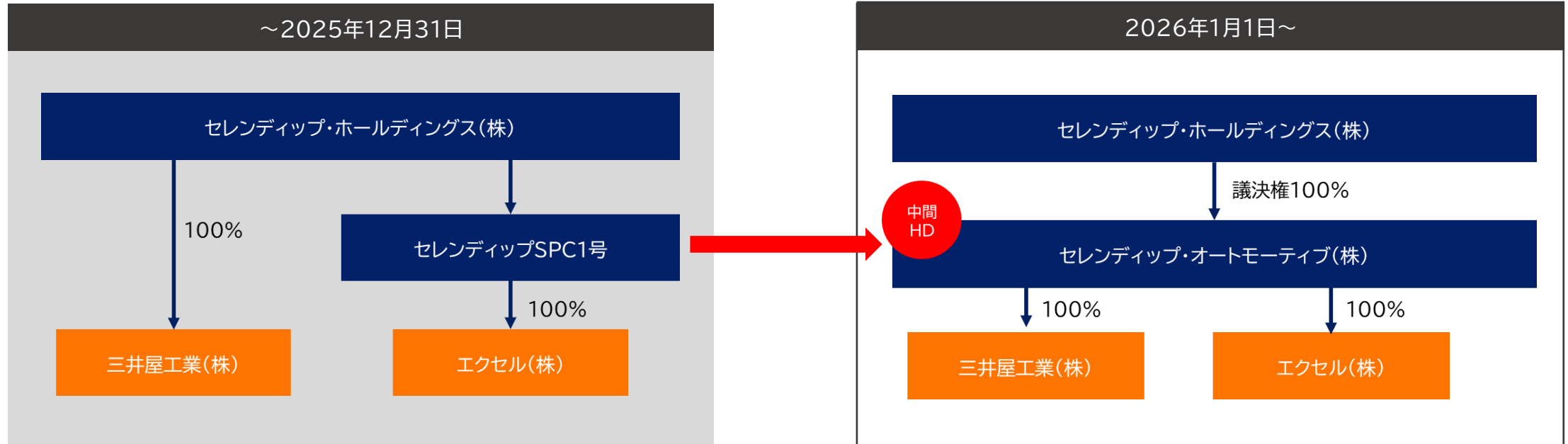


機能・技術を軸としたロールアップ型
の事業承継M&Aを志向



ロールアップ型M&A | 三井屋工業×エクセルの統合に向け中間HDの設立

- 経営資源の最適化と開発力の統合により、人材育成・獲得と競争力を強化し、さらなる収益向上へ
- 地域密着から広域対応へ、当社自動車事業部門の母体づくりを目指す



IRイベント情報

イベントでは、代表取締役社長兼CEOの竹内が登壇し、事業説明と成長戦略についてお話しします。
投資家の皆様に当社への理解を深めていただく機会となりますので、ぜひご参加ください。

日 時	時 間	イ ベ ント 名	開 催 形 式	開 催 場 所
2026年2月27日(金)	14:30～15:20	日本証券新聞主催	会場	福岡
2026年3月22日(日)	時間未定	湘南投資勉強会	会場＋オンライン	湘南

イベントなどの最新情報はX(旧:Twitter)にて配信中
アカウントID: @SERENDIP_HD





Index

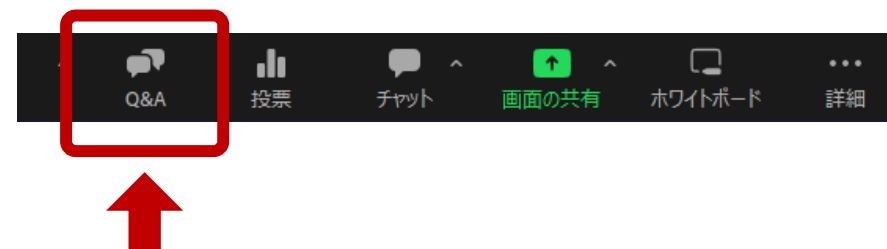
1. 決算概要
2. トピックス
3. Q&A
4. Appendix

Q&Aとアンケート

1. Q & A

「Q&A」欄にご質問を投稿してください。

時間の都合上、すべてのご質問に回答できかねる場合がございます。
予めご了承のほど、よろしくお願いいたします。



2. アンケートのお願い

右のQRコードもしくはURLから、ご回答いただけます。

アンケートでは皆様のご意見やご感想によって、IR活動を改善してまいります。
回答フォームからメルマガ登録(任意)も可能です。

↳ 決算情報・IRニュースなどを定期的にお届けします。

＼皆様のご意見お待ちしております!!／



<https://forms.office.com/r/n7hEKeN3XZ>

Contact Us



<https://www.serendip-c.com/>



愛知県名古屋市中区錦 1-5-11
名古屋伊藤忠ビル



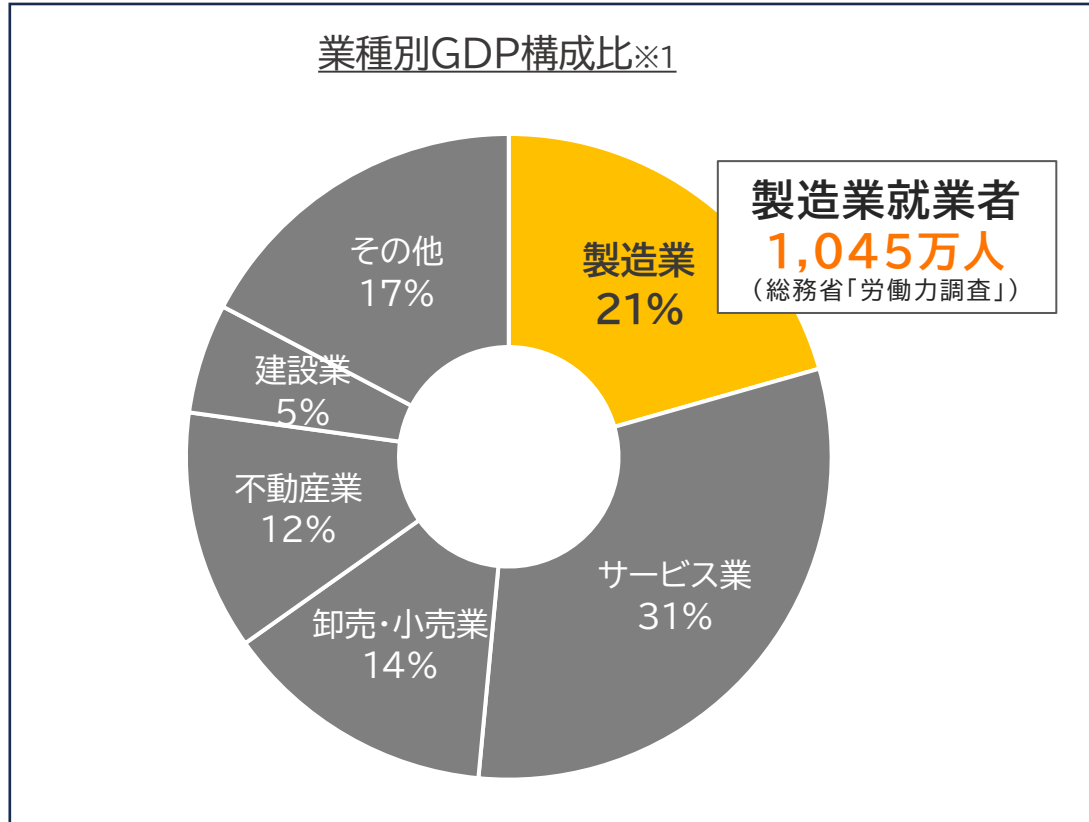


Index

1. 決算概要
2. トピックス
3. Q&A
4. **Appendix**

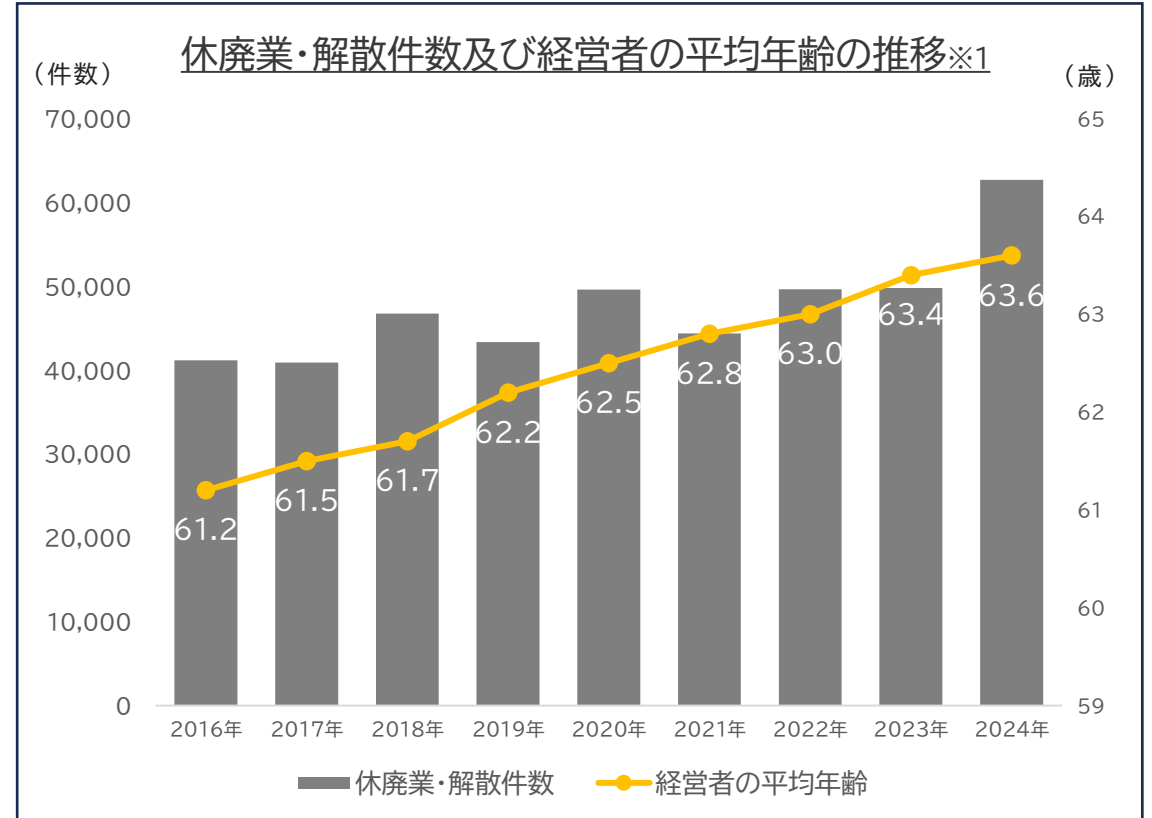
日本の中堅・中小製造業の危機

1. 製造業は、日本のGDPの約2割を占め1,045万人が就業する、日本経済を支える中心的な産業
2. 経営者の高齢化、後継者不在により「休廃業・解散」を選択する件数が増加傾向



※1 内閣府「2021年度(令和3年度)国民経済計算年次推計」より当社作成

依然重要な日本の製造業

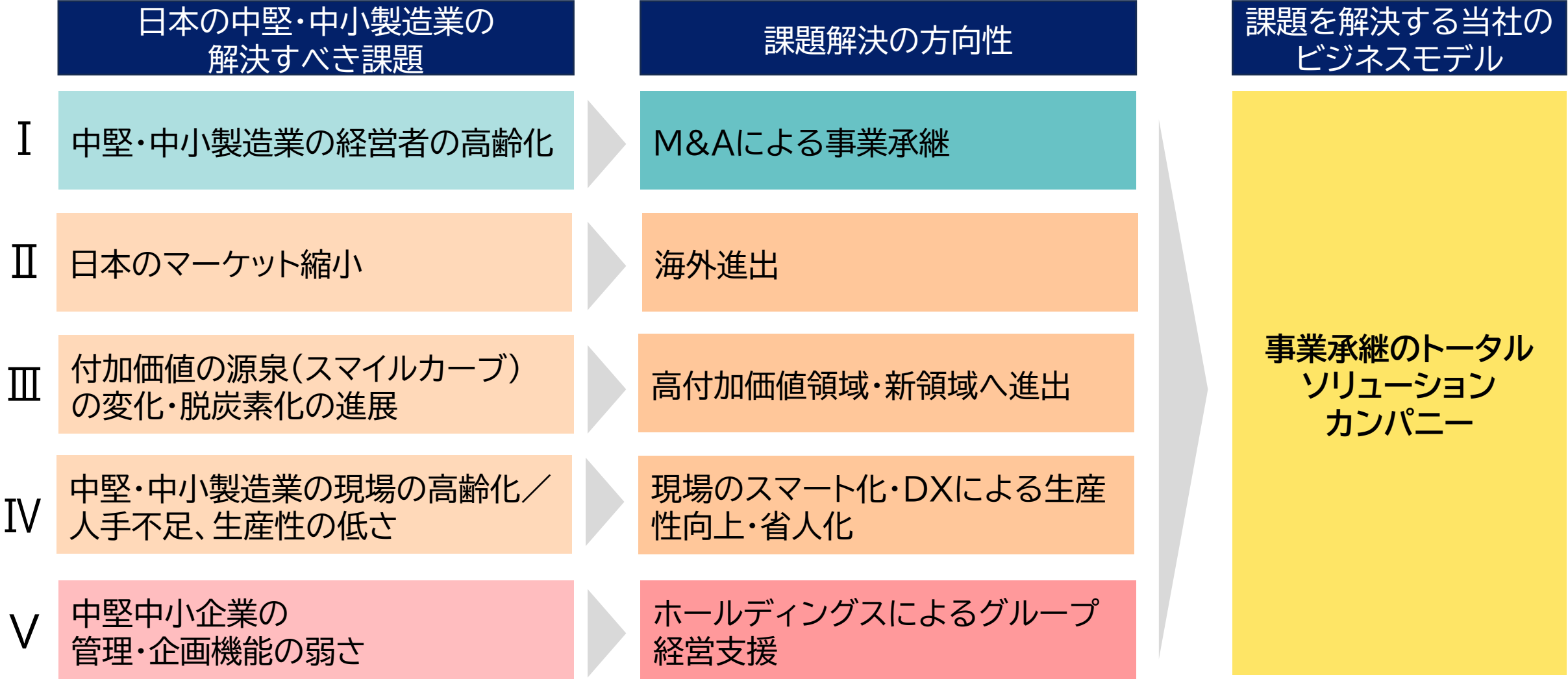


※1 (株)東京商工リサーチ「休廃業・解散企業」動向調査、「全国社長の年齢調査」(2024年)

事業承継M&Aへの圧倒的需要

解決すべき5つの課題と課題を解決する当社のビジネスモデル

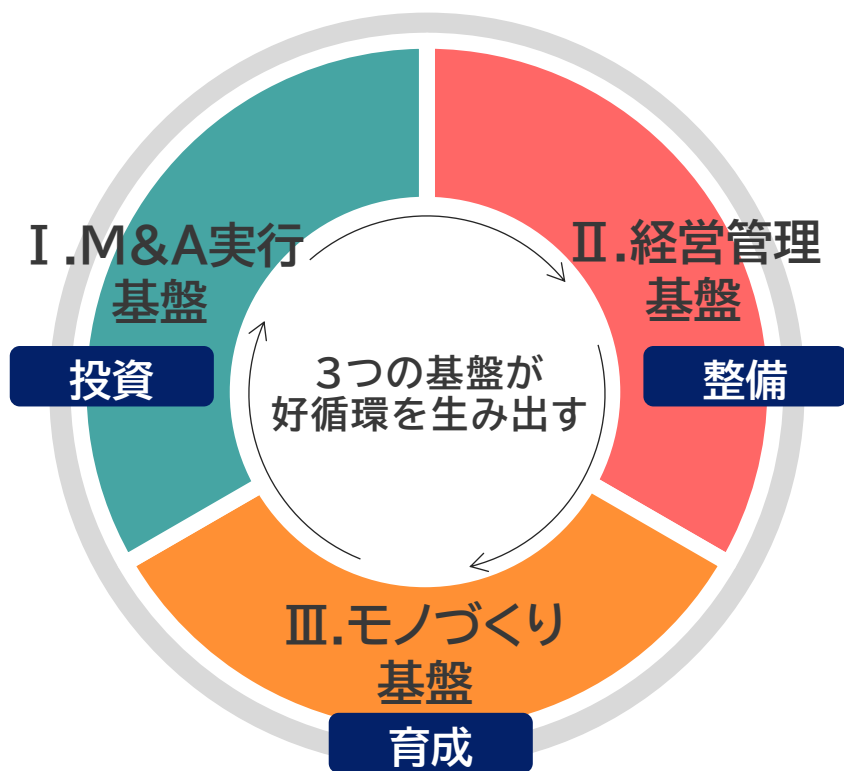
- 当社は、日本の中堅・中小製造業の課題を解決する事業承継のトータルソリューションカンパニー



当社は事業承継を総合的に解決するトータル・ソリューション・カンパニー

日本の中堅・中小企業が直面する課題解決に向けて、独自の「モノづくり事業承継プラットフォーム」を構築

モノづくり事業承継プラットフォーム



モノづくり事業承継における3つの基盤

I. M&A実行基盤 **投資**

「セレンディップ投資ポートフォリオ(SIP)」の方針に基づき
M&Aプロセス全体(M&Aチャネル開拓、M&A戦略立案/実行)の遂行

II. 経営管理基盤 **整備**

プロ経営者によるチーム経営、標準化されたマネジメントツール、業務シェアードによる
グループ一体となった「セレンディップ人材育成スタンダード(SHS)」を確立

III. モノづくり基盤 **育成**

標準化された「セレンディップ改善スタンダード(SKS)」を活用し、製造現場の変革を
推進、R&Dの強化、グローバル化を図る

フューチャーファクトリー構想

モノづくり基盤 | 製造現場の変革スタンダード

- 当社の製造現場の変革は、3つのステップで実現
- 品質向上・生産効率向上・IoT活用による省人化によって得られたリソースをR&D(研究開発)に集中投下

見える化を徹底し、「データを見て、ファクトで判断する」製造現場に



モノづくり基盤 | セレンディップ・フューチャーファクトリーをグループ内外へ展開

- ・ 人材不足・ノウハウ不足の課題を解決するトータルソリューションを提供

セレンディップ・フューチャーファクトリー

省人化

自動搬送システム・協働ロボットによる省人化
スマートカメラを活用した遠隔指示

可視化

生産データからCO2排出量を定量化し、
見える化とコスト削減
データのリアルタイム見える化で
現場改善活動の活発化

DX

次世代生産管理システム(ERPパッケージ)
の導入
デジタルツインを活用して設計・製造を変革

セレンディップ・チャレンジ500

1. グループ会社のフューチャーファクトリー化(ロールモデル化)

三井屋工業 東北工場
環境保全推進賞知事賞受賞

2. コンサルティング事業部がDX、RX(協働ロボット導入)サービスを拡大



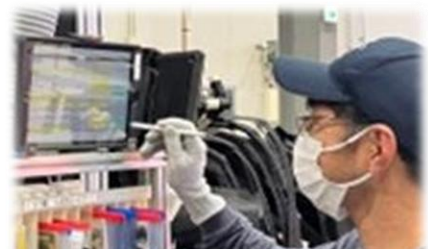
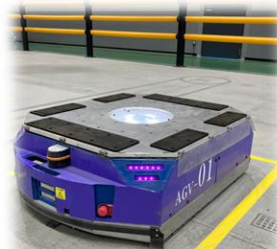
事 例 | 徹底した省人化で生産性2倍を実現

- 2025年4月 三井屋工業株式会社(本社:愛知県豊田市)の東北工場を増床

三井屋工業 東北工場 環境保全推進賞知事受賞

1. 労働生産性が、従来比100%向上
2. 発生品質不具合が、従来比90%削減
3. 生産設備の効率的な稼働により、
製品個当たり電力が、従来比40%改善
➡CO2排出削減量 年間約595t

※2025年1月より東北工場で使用する電力
を全てCO2フリー電源へ切替し、これによる
CO2削減量が年間900tになる見通し



グループ会社一覧

モノづくり事業

国際競争力が高く、サプライチェーンが強固な分野

金属プレス加工



自動車
精密部品製造

※佐藤工業株式会社
と株式会社イワ中は、
2025年4月1日を
もって合併し、ユニク
レア株式会社として
スタートいたしました。

樹脂成型

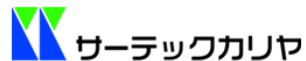


自動車
内外装部品製造



自動車部品ダクト等の
樹脂成型品の
開発・製造

めっき加工



New

自動車部品の
表面処理

グループ参画日
2025年7月

独自性があり高付加価値な領域

デザイン

Apex



Turning your ideas into reality.

開発段階における
試作品製作・デザイン

※株式会社トライシス
は、2025年10月1
日をもって株式会社
アパックスへ合併しま
した。

企画開発



ファクトリーオートメーション
装置製造

ビューティーテック



業務用美容器開発・
製造・販売

プロフェッショナル・ソリューション事業

モノづくり事業承継プラットフォームを強化する企業



プロ経営者派遣、
コンサルティング



設計・開発・ITエンジニア
派遣、ソフトウェア開発



協働ロボット販売・
レンタル

インベストメント事業

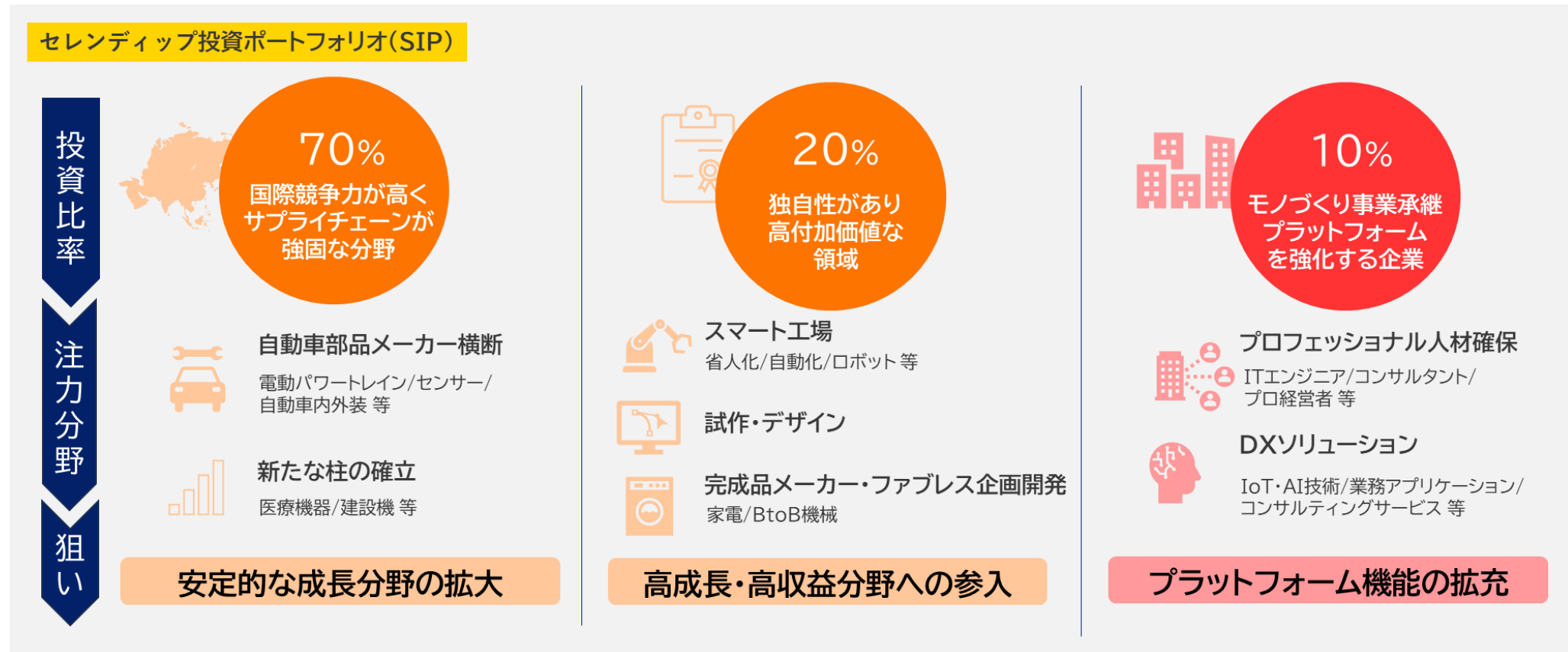
投資やフィナンシャル・アドバイザー



プリンシパル投資(自己資金投資)、
フィナンシャル・アドバイザー、ファンド運営

M&A基本方針 | セレンディップ投資ポートフォリオ(SIP)

- 安定的な収益獲得分野と、変動性は高いが成長率・利益率の高い分野へ、SIPに従って継続して投資実行
- 成長のためのR&D・設備投資を織り込んだ適切なバリュエーションに基づく投資判断によりM&Aを実行

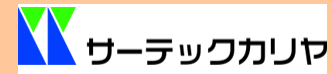


海外拠点を持つエクセル・サーテックカリヤの参加により、当社のグローバル化が一気に加速

グループ企業が連携したグローバル化

1. エクセル・サーテックカリヤのグローバルな「生産体制基盤」を活用
2. 豊富で優良な「顧客基盤」の共有

セレンディップ・オートモーティブサプライヤー



セレンディップ・チャレンジ500の成長戦略
『海外進出』を大きく推進

タイ



ベトナム



サーテックカリヤ



サーテックカリヤ



フィリピン

サーテックカリヤ



インドネシア

アメリカ



メキシコ



当社ならではの競争優位性

- 国際競争力および参入障壁の高い自動車業界を中心にM&Aを展開
- 現場改善と経営変革を通じ、R&Dで成長を実現

M&A市場におけるポジショニング

		長期保有前提		短期保有前提	
▼製造業の成長に必要な要素			 同業他社	 一般事業会社	 中小型PEファンド
現場改善	モノづくり改善・変革ノウハウ	✓ コンサル・事業会社出身多数	△ 金融出身者が多い	✓	×
	R&D強化で新規事業創出	✓	×	△	×
経営変革	経営への支援	✓	△	×	×
	PMIの専門人材	✓ 社内育成＋外部登用あり	△ 内部人材や特定人材に依存	×	×
	ロールアップ型M&A	✓ 業界横断の統合も	△ 同一の事業であれば効果あり	×	×

I .M & A実行基盤 | 3つの投資モデル

- 成長戦略やオーナー経営者のニーズに合わせて、3つの投資モデルから選択

プリンシパル投資 (自己資金投資)		売上 規模	目的	回収 期間	投資実行 会社	実行件数 の目安	中期的な エグジット(予定)
1	グループ化 投資	50億円 以上	ロールアップ・ 新規事業	長期	セレンディップ・ ホールディングス	1～2件/年 程度	—
2	フロー型 投資	50億円 未満	エグジット	短期	セレンディップ・ フィナンシャルサービス	1～4件/年 程度	1～2件

ファンド		売上 規模	目的	回収 期間	投資実行 会社	実行件数 の目安
3	SBI新生銀行 グループ 共同ファンド	50億円 未満	エグジット	短期	日本ものづくり 事業承継投資 (共同投資会社)	1～2件/年 程度

主なM&Aの実績

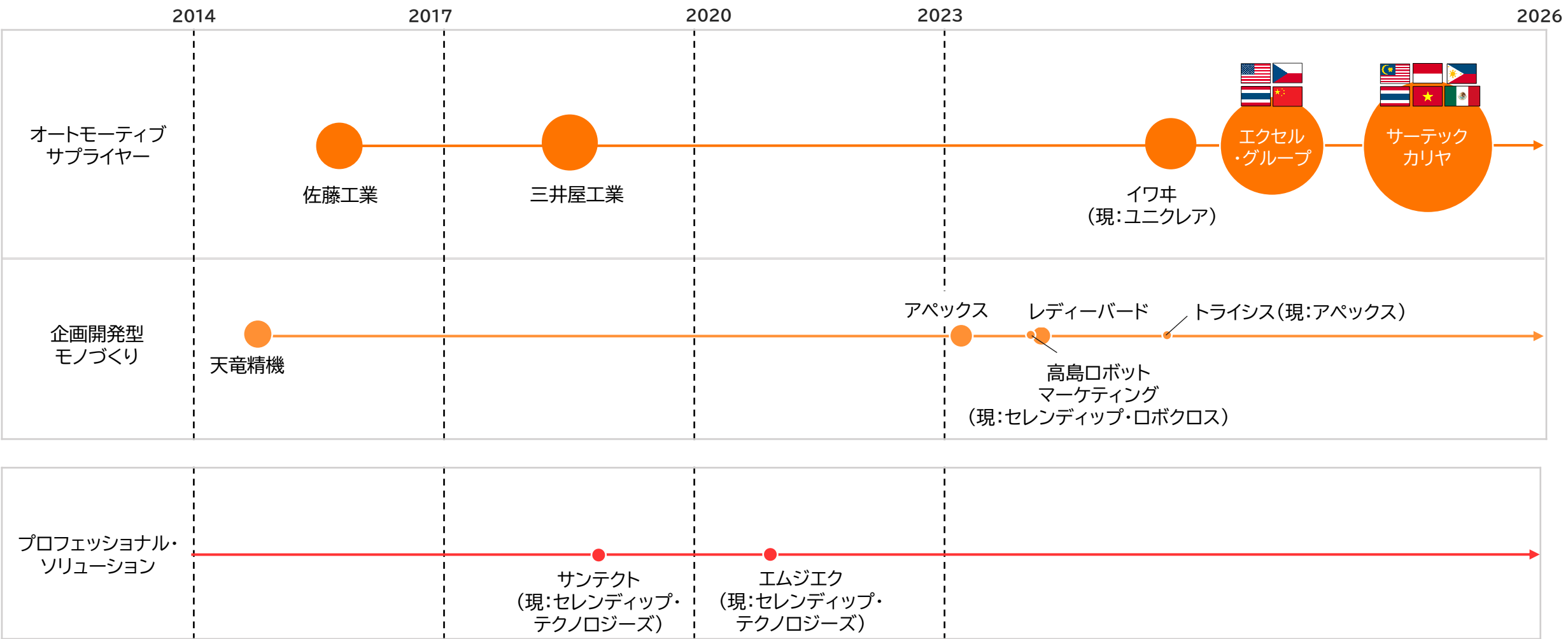
- 2014年から、10件以上のM&Aを実施。

会社	投資モデル	株式取得	現在	特記事項
天竜精機株式会社	ストック型	2014年	連結子会社	
佐藤工業株式会社（現 ユニクレア株式会社）	ストック型	2015年	連結子会社	
協立製作所株式会社	フロー型	2017年	売却済み(2020年)	
三井屋工業株式会社	ストック型	2018年	連結子会社	
サンテクト株式会社（現 セレンディップ・テクノロジー株式会社）	ストック型	2018年	連結子会社	
株式会社エムジエク（現 セレンディップ・テクノロジーズ株式会社）	ストック型	2020年	連結子会社	
三河鉱産株式会社	フロー型	2022年	投資中	名古屋銀行グループとの共同出資
株式会社アペックス	ストック型	2023年	連結子会社	
白金鍍金工業株式会社	ものづくりファンド	2023年	投資中	
高島ロボットマーケティング株式会社 （現 セレンディップ・ロボクロスマーケティング株式会社）	ストック型	2024年	連結子会社	2025年3月期2Qから業績取込
株式会社レディーバード	ストック型	2024年	連結子会社	2025年3月期1Qから業績取込
勝和産業株式会社	ものづくりファンド	2024年	投資中	
株式会社イワキ（現 ユニクレア株式会社）	ストック型	2024年	連結子会社	2025年3月期4Qから業績取込
エクセル・グループ	ストック型	2024年	連結子会社	2025年3月期4Qから業績取込
株式会社トライシス	ストック型	2024年	連結子会社	2025年3月期4Qから業績取込
コムコグループ	ものづくりファンド	2025年	投資中	
サーテックカリヤ・グループ	ストック型	2025年	連結子会社	2026年3月期2Qから業績取込

(2025年5月20日時点)

M&Aの大型化とグローバル化加速

- M&Aは年2～3件が目標



※円の大きさは、売上高をイメージ。

グループ拠点

THAILAND



SURTEC&PLAMEX CO.,LTD.
SURTECKARIYA CO.,LTD.



THAI EXCELL
MANUFACTURING Co., Ltd



EXCELL USA, INC.



天竜精機株式会社



株式会社アペックス



ユニクレア株式会社



エクセル・グループ(日本)



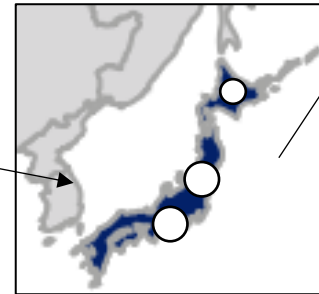
三井屋工業株式会社



株式会社サーテックカリヤ



SURTEC&SUZUKI
TECHNOLOGY MEXICANA,
S.A. DE C.V.



SURTEC PHILIPPINES INC.



SURTECKARIYA
VIETNAM CO., LTD.

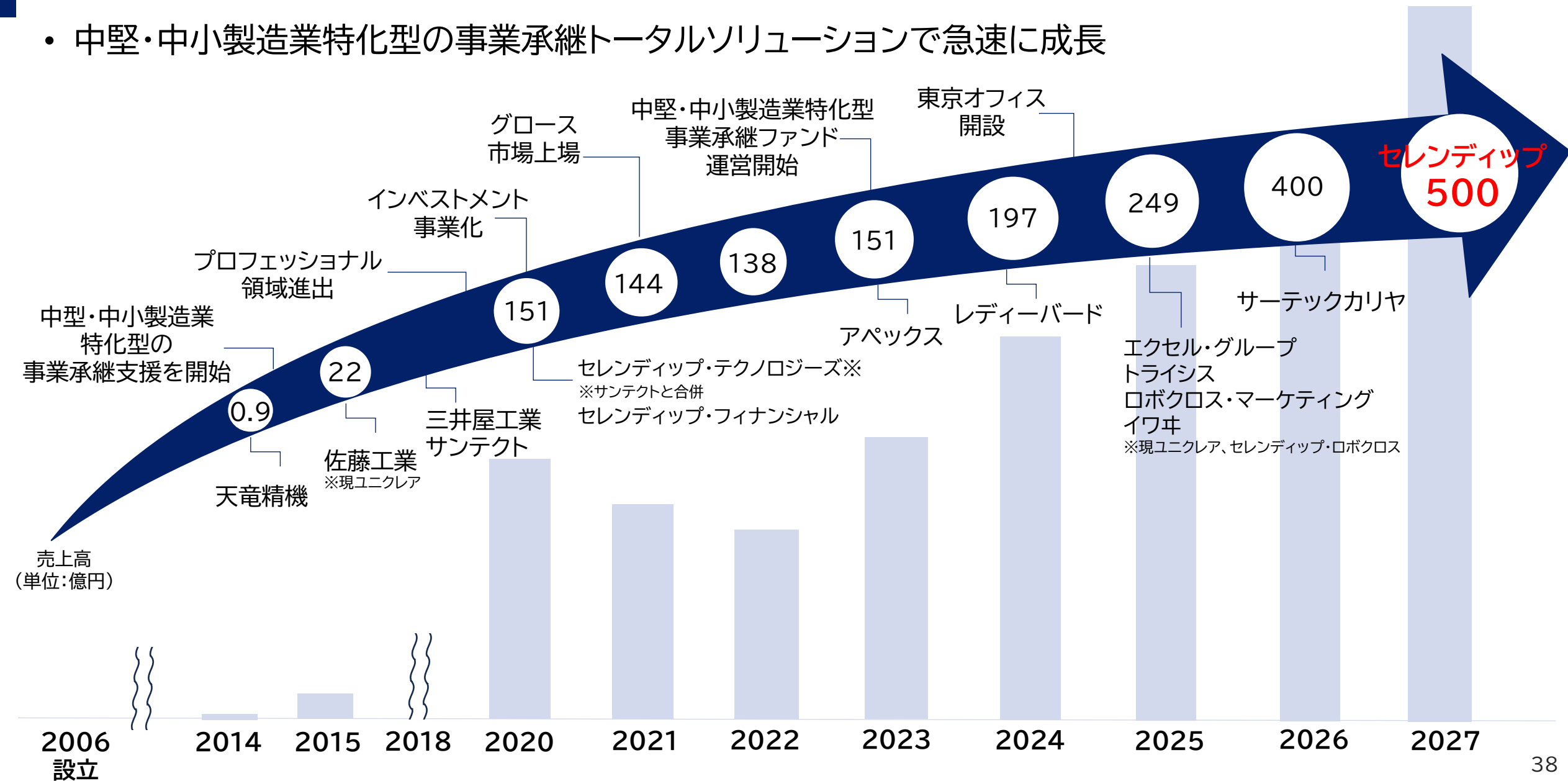


PT.SURTECKARIYA
INDONESIA

- セレンディップ・ホールディングス株式会社
- 天竜精機株式会社
- ユニクレア株式会社
- 三井屋工業株式会社
- セレンディップ・フィナンシャルサービス株式会社
- セレンディップ・テクノロジーズ株式会社
- 株式会社アペックス
- 株式会社レディーバード
- セレンディップ・ロボクロス株式会社
- エクセル・グループ
- 株式会社サーテックカリヤ

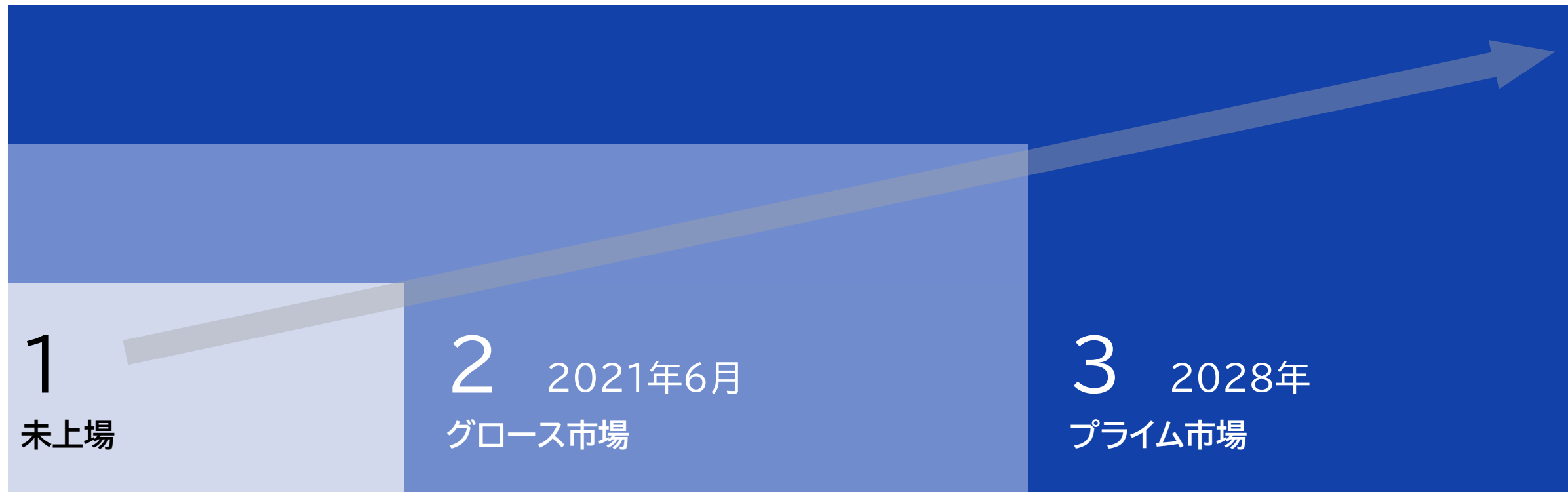
沿革

- 中堅・中小製造業特化型の事業承継トータルソリューションで急速に成長



プライム上場へのロードマップ

日本の中堅・中小製造業の事業承継と経営革新を加速度的に促進するために、社会的インパクトを与えられる企業体への進化



- ・ 監査等委員会設置会社への移行
- ・ プライム上場準備室の設置
- ・ コーポレートサイトのリニューアル

時価総額300億円の達成

当社のミッション・ビジョン・バリュー

MISSION

私たちが果たすべき使命
日本の中堅・中小製造業を
世界に誇れる100年企業へ

VISION

私たちが実現したい未来
プロ経営者の輩出と、経営の近代化を通じて
日本のモノづくりに経営革新を

VALUES

私たちが大切にする価値観
合理的思考と見える化を共通言語とし
意思と意欲ある個性を大切にします



SERENDIP HOLDINGS

社名の由来となった「Serendipity (セレンディピティ)」とは、素敵な偶然に出会ったり、予想外のものを発見することを意味します。セレンディピティが世界にもたらす可能性を私たちは信じています。

代表者の紹介



代表取締役社長兼CEO
竹内 在 | Ari Takeuchi

幼少期より、曾祖父である竹内明太郎(コマツ創業者)の影響を受け、経営者としての道を志す。

- 1994年 ニフティ株式会社
- 1999年 株式会社東海総合研究所
(現 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)
- 2001年 SAPジャパン株式会社
- 2006年 日本オラクル株式会社
- 2011年 株式会社シンプレクス・コンサルティング
(現 シンプレクス株式会社)
- 2014年 当社代表取締役社長
- 2023年 当社代表取締役社長兼CEO

当社のMission

事業承継型M&Aにより
日本の中堅・中小製造業を世界に誇れる100年企業へ

曾祖父から学んだ哲学から事業承継型M&Aへ



竹内 明太郎

富国工業基

『良品に国境なし
工業こそ富国の基』

1. 経営合理化と近代化

26歳の時に父から、芳谷(よしのたに)炭鉱の経営を一任。
徹底した技術革新と合理化を行い、極力内製化しコストダウンを図った。
当時の最新技術を導入し、近代的生産体制の確立した。

2. 経営多角化・M&A

鉱業・炭鉱だけでなく、鑄造、鍛造、金型など周辺事業も手掛けた。その次は機械工業への進出。
その一つが唐津鉄工所。工作機械の開発製造を手掛ける。
もう一つが鉱山用機械製作の**小松鉄工所**。全国の炭坑や鉱山を次々と**買収し、事業拡大を図った**。
快進社(DUTSUN)へ出資し、**日本の自動車業界の幕開けを作った**。

3. 海外・研究開発

欧州で鉱山、機械、造船等の視察と、当時開催中のパリ万博をも視察し、そこで技術の遅れを痛感した。
帰国後、多くの事業を立ち上げ、機械など国産化を行う。

4. 地方創生

唐津、小松鉄工所にしても創設地から動かなかった。その理由として、
1. その地方に受けた恩に報いる、2. 移転すると地方の衰退につながる、3. 地方は実直な若者が多い、4. 国家的見地より、工業の地方分散がよい、5. 良品に国境なし、造る場所は問題にはならない

5. 教育・人づくり

「人創りこそ企業の礎、また国を興す礎でもある」高知工業高校、早稲田大学理工学部へヒト、モノ、カネを寄贈



社名	セレンディップ・ホールディングス株式会社 SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd.
代表者	代表取締役社長兼CEO 竹内 在
本社所在地	愛知県名古屋市中区錦一丁目5番11号 名古屋伊藤忠ビル
設立	2006年8月
資本金	11億4273万円(2025年3月末現在)
株式公開市場	東京証券取引所 グロース市場 証券コード:7318
従業員数	単体 67名(2025年9月末現在) グループ全体 4,182名(2025年9月末現在)
決算月	3月

本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。